



Press Release

報道関係各位

2026 年 6 月 29 日

H m c o m m株式会社

(東証グロース 265A)

H m c o m m、四国電力への異常音検知 AI ソリューション
「FAST-D モニタリングエディション」を活用した設備監視を開始

H m c o m m株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：三本 幸司、以下H m c o m m）は、四国電力株式会社（香川県高松市、代表取締役社長：宮本 喜弘）に対して、H m c o m mが開発する異常音検知 AI ソリューション「FAST-D」を提供することとなりましたのでお知らせします。

「FAST-D」は、設備の稼働音を AI で常時モニタリングし、外れ値検知モデルを自動作成して異常の兆候を捉えるアプリケーションです。本取り組みは、2025 年度の共同検証を通じて、設備異常に起因する異音を人の聴覚や経験に頼ることなく検知できる可能性や有効性を確認できたことを受けたことから、その検証成果を踏まえ、設備監視業務への適用を進めながら知見の蓄積を図ることを目的としたものです。FAST-D の提供により、社会インフラの安全・安心に貢献してまいります。

【音による設備モニタリングアプリ「FAST-D」の特徴】

FAST-D は、H m c o m mが独自に開発した音響解析ベースの異常検知アプリケーションです。設備から発せられる正常時の音（正常時の稼働音）をあらかじめ学習し、稼働中にそれらと異なる音をリアルタイムで検知することで、異常兆候の早期発見を可能とします。AI による自己学習機能により、設置現場ごとのノイズ特性にも柔軟に対応でき、従来のセンサーや定期点検では捉えにくい微細な変化を捉えることができます。

FAST-D は PC やタブレットから操作・確認が可能であり、現場スタッフの負担軽減や保全業務の迅速化にも貢献します。また、クラウド連携や遠隔監視にも対応しており、将来的な多拠点展開にも適しています。

【取組概要】

本取り組みは、発電に関連する設備機器を常時監視することを目的としています。これらの設備では、異常の初期兆候が音として現れるケースが少なくなく、音響 AI による監視は有効な手段の一つと考えられています。FAST-D の導入により、定期的な巡視点検の負担を軽減できるほか、これまで監視が困難だった巡視点検以外の時間帯にも状態を把握できるようになります。これにより、状態基準保全（CBM）の実現も期待されています。

【期待される効果】

今回の取り組みにおいて期待される効果は次のとおりです。

- ・ 異常兆候の早期発見による設備停止リスクの低減
- ・ 常時データ蓄積による傾向監視と予兆保全の実現

本取り組みを通じて、AI を活用したインフラ保全の高度化を実現するとともに、人的リソースの適正配置と生産性の向上、安全性の向上、さらには脱炭素・省エネ時代に求められるスマートな運用体制の確立に貢献してまいります。

【H m c o m m株式会社について】

- ・ URL <https://hmcom.co.jp>
- ・ 所在地 東京都港区浜松町 2 - 1 0 - 6 PMO 浜松町Ⅲ 4 階
- ・ 事業内容 人工知能（AI）音声処理技術を基盤とした要素技術の研究/開発およびソリューション/サービスの提供

【四国電力株式会社について】

- ・ URL <https://www.yonden.co.jp/>
- ・ 所在地 香川県高松市丸の内 2 番 5 号
- ・ 事業内容 電力事業

<本リリースに関するお問合せ>

報道関係者様：H m c o m m株式会社 IR 担当 hm_ir@hmcom.co.jp
企業様：H m c o m m株式会社 営業統括部 sales_team@hmcom.co.jp
TEL：03-6550-9830 FAX：03-6550-9831